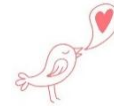


さかたく進路だより



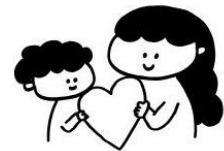
○昨年度の高等部3年生の保護者から在校生の保護者の皆様へ



※原文のまま掲載

1. 進路決定を経験して、進路決定までにやっておいてよかったこと。

- ・福祉施設説明会への参加、1日に3か所の説明を聞けること、担当者に直接質問ができることはとても有意義。小学部から参加したことで、中学部のうちに通える施設の説明を全部聞くことができた。
- ・放課後等デイサービスの他に高1の頃より3年間卒業後も利用できる日中一時を利用して、大人の利用者さんとの関係にも適応でき、職員の方にも特徴を理解して受け入れて頂けたのでよかったです。
- ・相談支援事業所へよく相談させていただいていました。
- ・高校1年生、2年生の夏休みを利用して、事業所を見学して、事業所の方や活動内容、雰囲気なども実際に見ることができて、利用者の方とも声をかけてきてくれて話すことができたり、どんな事業所なのかを知ることができて良かったと思っています。
- ・いろいろな事業所を見ることで、子供にとっても親にとっても為になったと思います。
- ・日中一時支援を利用して、3年生の夏休みに事業所を利用しました。
- ・本人が将来何をやりたいか、どんなことをしたいかを話し合うこと。体験や見学を早めに行っておくこと。
- ・相談員の方に家庭や仕事の状況を含めて、子供の進路についていろいろ相談したこと。(先々のことも含めて)
- ・学校での施設の説明会に多めに参加したこと。(毎回必ず同じ施設さんが来るわけではない)
- ・上の学年の親御さんにいろいろ話を聞く。
- ・いろいろな所の福祉施設に見学しに行ってお進路を決められてよかった。
- ・気になる施設の情報収集や見学。
- ・施設の見学や体験。子供とたくさん話す。(将来について)
- ・いろいろな職場に行ってお体験をしてみたりして知ること。
- ・学校とは違う会社のルールや一日の過ごし方を体験したくさん学べたこと。
- ・自分にはどんな職種が合うかを知れたこと。
- ・先生に大きな声であいさつをすること。
- ・現場実習をやっておいてよかったです。
- ・高校入学当初から一般就労を目指していたので、自動車免許は必須になると思い免許取得までの3年間、一生懸命学科の勉強を頑張ってきたことです。頑張った結果が実る事のうれしさをたくさんの子たちに味わってほしいです。
- ・子供たちの可能性を信じ、できる事を一生懸命頑張って自信をつけてもらいたいです。
- ・親子で頑張ることがとても大切です。たくさん励ましてください。
- ・施設の見学は中学部の時からしていましたが、体験実習(※1)は高2になってからでした。子供の様子がわかるのは体験をさせてもらうのが一番だと思いました。半日、一日と作業の体験を通じて、子供に合っているか、何が得意で何が不得意なのかも知ることができます。また、施設の職員さんの対応もわかりますので、体験実習を経験することをおすすめします。



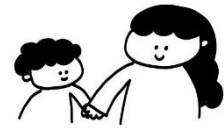
※1：現場実習は授業の一環で実施するため、進路指導主事が連絡調整。体験実習は、保護者が直接福祉施設の方とやり取りして実施。体験実習は学校を欠席して実施することになる。一般企業については、普通高校の就職活動に準ずるため企業とのやりとりは学校を介して行うので注意。

2. 進路決定を経験して、進路決定までにやっておけばよかったこと。

- ・子供が自分で伝える必要が出てくるので、自分の言葉で意思を伝えられるよう、日常の会話をもっと大切にしておけば良かったと思う。とにかく聞いてあげること。言い間違い等を指摘せず、自分の話をきちんと受け止めてもらえる体験は自信につながる。(表現については話を終えてから正しい言い方を教えると良い)
- ・就労支援、生活介護、グループホームの福祉サービスを利用するのに「障害福祉サービス受給者証」を各

市町村に申請するのですが、市町村による聞き取り調査（一次判定）、精神科主治医の意見書、学童・学校等への聞き取り後二次判定、その後結果通知となり、さらに相談支援事業所に4月からのプラン作成・計画依頼となるので、高3の一学期には手続きを始めた方がよかったです。遅かったので、卒業後の3月末まで受給者証が届きませんでした。

- ・中学生になったら早めに事業所に見学に行けたらいいのではなかったのかと思っています。高校に入り現場実習を事前に調べておくことで、子供との話し合いもゆっくりできると思うので。その為にはまずは行動して知ることや自分でよく見ることは大切だと思います。
- ・いろいろな情報を集めて、選択肢を広げてあげられたらよかったです。
- ・もう少し早い段階で進路について子供と話しができればよかったです。
- ・一般企業の見学も行けばよかったですと思う。
- ・中学部からの体験実習（上記※1）。
- ・進路決定までの流れがよくわからず最初はどのように動いたらよいのか全くわかりませんでした。もっと早く動けていたらよかったですと思うこともありました。
- ・進路を考えると、もう少し早めに調べたり話し合いをしてあげられていたらよかったですと思いました。
- ・先生がアドバイスを言ったことをメモすること。
- ・最初にいろいろな会社を調べて自分に合った会社で現場実習をした方がよいです。
- ・日本語は世界で一番難しいと思います。一つの漢字でも音読み、訓読みがあり、多いときは4～5ぐらいの読み方をする漢字もあります。またそれを踏まえて漢字の意味もありとても奥深いです。社会に出るにあたって、たくさんの漢字、またその意味が少しでもわかるよう、できる限り漢字検定など勉強を頑張ることがとても大切だと思いました。



3. その他（在校生の保護者に伝えたいこと）

- ・進路は遠い先のことのように感じている方へ…今日の一日が積み重なった先に卒業後の進路があるので、今日の前のことに精一杯取り組んでほしいと思う。特に身辺自立とあいさつは重要。そして人の話を素直に聞けること、良い面をほめて伸ばしていってください。
- ・いずれは一人暮らしの時が来るので、グループホームやショートステイの体験をしながら少しずつ自立サポートをして準備をする。入所の空きも無く、順番待ちの多いので安心して過ごせる居場所を選ぶためには、早い段階で移行先を検討し親が行動に移すことが大切だと思います。
- ・お子様の性格や事業所見学、先生方や相談支援の方など、わからないことも含めこれから進む将来をよく話し合いながら、卒業後も毎日を少しでも楽しく安心して生活できるように、ご家族の方も大変だと感じることもあると思いますが、一人で悩まずに周りに相談して力になってもらったり、人に甘えることも大切だと思います。
- ・高校生になったらすぐ体験や見学に行き、いろいろな情報を集めて本人と話しておいた方がよい。
- ・苦にならず長く通えそうな所を選んであげてほしいです。
- ・作業や現場実習で最初からできる人はいないと思うし、やってみて覚えたりすることは多いと思うので目標は高くもってほしいです。
- ・親の希望や普段の家でのようすから進路を決めていくようになるかと思っています。いくつも施設見学、体験実習を経て思うことは、施設から帰宅してお子さんの様子をよく見るのが大事だと思います。イライラしていないか、よく眠れているか、夜中に目覚めたりすることが続くようだと、日中の活動に無理があるのだと感じました。お子さんがいつもと変わらず過ごせているなら、その環境で大丈夫なんだと思います。キツイ、辛いとなかなか表現できないお子さんだとよく様子を見てより良い環境になるよう進路先を探してみたいと思います。
- ・すごく悩むと思います。親の理想もあると思いますが、子供が安心して通えるような所がいいと思います。
- ・どんな進路を選んだとしても、子供の可能性を生かせる未来が必ずあると思います。この子たちは無限のパワーをもっているのです。私たちも試練にぶつかった時には、さかどくでの学び、思い出、パワーを胸に前進していきたいです。応援しています。
- ・一般就労や就労支援など進路の道はいろいろあると思いますが、たくさん一緒に考えて広い視野で最後は決められたら良いと思います。
- ・現場実習や職業でも笑顔、挨拶をこれからも続けてください。
- ・境特別支援学校で社会に向けていろいろなことを教えていただきありがたいと思っています。
- ・子供たちのやりたいこと、歯止めをかけず親も一緒になって頑張り支えることがとても大切だと思います。
- ・「自分がどこまでやれるか」挑戦することはとても大切なことです。子供たちの笑顔は親にとって何よりも幸せなことなので、子供の頑張り最後まで応援し続けてほしいです。